

河川浄化考えよう^{7/23} 都城 庄内地区住民ら「集い」



河川浄化の取り組みなどに耳を傾ける参加者

生活と自然環境について考
 多る集いが16日、都城市庄内
 町の庄内地区公民館であっ
 た。住民ら約30人が参加し、
 講演や事例発表などを通じて
 河川浄化に対する意識を高め
 た。

同町の庄内商工会女性部
 (菅生孝子部長)が環境保全
 の啓蒙を目的に企画。初めに
 NPO法人大淀川流域ネット
 ワークの杉原哲代表理事が
 「身近な自然を考える」と題
 して講演し、環境破壊が古来
 文明の興衰を導いた事例や都
 市化による水循環の変化など
 を説明した。

また、大淀川の水質改善に
 対する取り組みとして浄化水
 の使用を呼び掛けたり、浄化
 作用のある接触材を排水路に
 設置したりしていることを紹
 介。「地域で協力し、生活習
 慣を少し変えれば環境破壊は
 防げる」と訴えた。

浄化水の作り方と同女性部
 が作る浄化水「そうあい水」
 を使った活動報告などもあ
 り、菅生部長は「暮らしと環
 境はつながっている。川の環
 境改善に向け、私たちに何
 ができることがあるので、そ
 のきっかけになれば」と話し
 ていた。